

斉藤 祐揮 議員



問

観光政策に漫画などの連携を

答

出来るものから一つずつ対応する

未来づくり戦略室として、本町が出ている漫画やゲームなどに連携を提案してみてもいい。

中原町長

メリット・デメリットを考えたながら観光の在り方について検討していきたい。

○再質問

『波よ聞いてくれ』や『銀の匙』という漫画では本町が紹介されているが、今後の物販やふるさと納税などで限定パッケージ・ポップ・パネル展示などを考えてみては。

産業振興課長

著作権なども考慮しながら案件をクリアしてできるものは取り入れていきたい。



▲実際に漫画に登場した案内看板

○再質問

もっと若い方に意見を聞き、本町の出ている様々なことにファンテナを張り、積極的に取り入れて和寒を知ってもらう努力をしては。

中原町長

人口減少を止めるためにも漫画やゲームなど色々なことを絡めて本町をPRしたい。

石田 利美 議員



問

ふくしのまちづくりの今後は

答

早期着工に向け準備を進めていく

今後のスケジュールについて常任委員会で説明があり、芳苑の建て替えの実施設計が完了し入札へと進んでいくが、問題点はあるのか。

中原町長

現在、新たな福祉施設の実設計が最終段階に入っており、建設費の精査により鋼管杭からコンクリート杭への変更で再計算に時間を要し、実施設計の完了時期が一か月程度延長するとされた。

その後、建設確認許可が出され次第、建設工事の入札が行われる。施設建設事業は一括発注となり、9月下旬以降に入札が実施される予定である。

早期着工に向け準備を進めている。

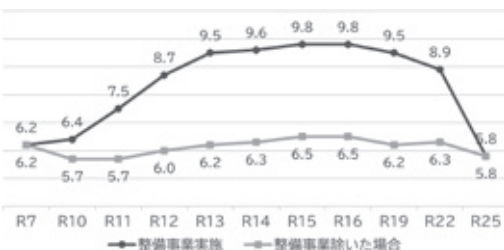
○再質問

中原町長

本町は今財源があるので建て替えができると思うが、その後、継続できるのか。ふくしのまちづくりだけではないので町民が一番心配している。5年後10年後はどのようなのか。

基金だけ見ると減る状況であり、15年後にきちっと収支を合わせていく形で進めていく。

※実質公債比率のシミュレーション



※実質公債費比率…町の収入のうち、どれくらい借金返済に使っているかの割合。